

順天堂練馬病院

医療・療養生活の選択

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

専門看護師

高倉絵梨香(急性重症看護)
菅谷千賀子(慢性疾患看護)
山口久美(精神看護)

上野麻衣(小児看護)
奥出有香子(がん看護)

認定看護師

森美由紀(緩和ケア)

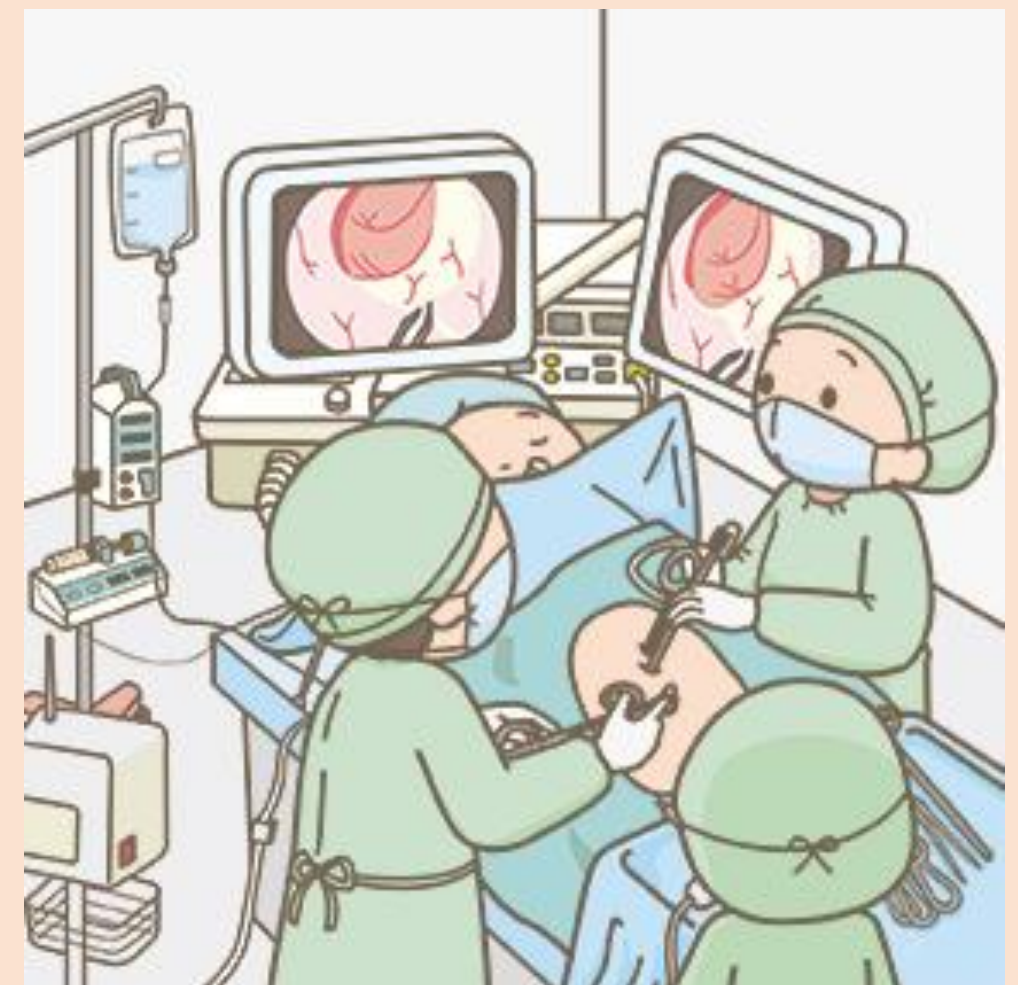
医療・療養生活の選択

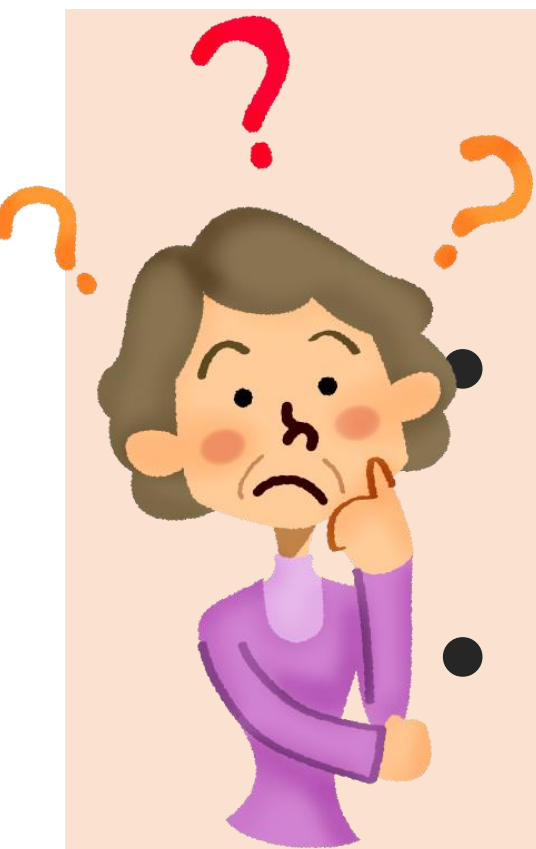
みなさんは



自分が受けない
医療・療養生活について

考えたことがありますか？





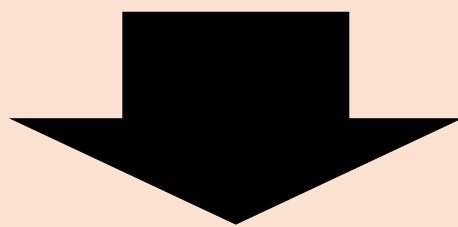
- 手術後の生活は、どうなるのかな？
- どこに相談したら、良いのだろうか？
- 先生に言われたことでモヤモヤ…
- 先生に質問しても良いのかな？
- 急に何かあったとき、どんな治療がされるんだろう？

と、感じる人は、たくさんいます



医療・療養生活の選択

- ◆みなさんが受ける医療・療養生活は、
ご自身で選択できます
- ◆選択にあたって、病院の特徴や在宅支援などを踏まえて考えることも大切です



- ◆自分の気持ち・考えと向き合って、家族や医療者と一緒に自分らしい生活を選ぶプロセスを
ACP(エーシーピー: Advance Care Planning)
といいます

エーシーピー ACP (Advance Care Planning)

人生会議

患者・家族・医療従事者が
今後の医療・療養生活について
「あらかじめ」話し合うこと

厚生労働省も応援するなど、
国をあげて推進している
取り組みです

厚生労働省、「人生会議」してみませんか、
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html,
2025/10/25閲覧

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしものときのために
ACP 人生会議 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～
11月30日（いい暮らし・暮らね）は人生会議の日

話し合いの進めかた（例）

誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。

あなたが大切にしていることは何ですか？

あなたが信頼できる人は誰ですか？

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？


話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため
何度でも繰り返し考え、話し合いましょう

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」
と呼びます。
あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

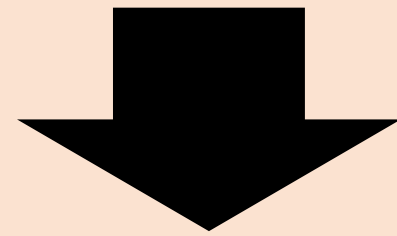
このような取組は、個人の主体的な
行いによって考え、進めるものです。
知りたくない、考えたくない方への
十分な配慮が必要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



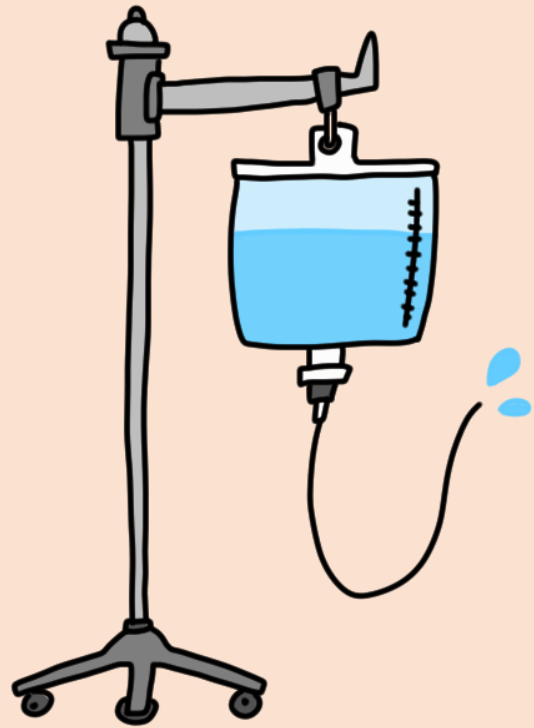
日本でのACP推進の背景

- ◆ 少子高齢化で医療や介護の需要が増加
- ◆ 治療の多様化



- ◆ これまで以上に患者の意向を考慮した治療の必要性
- ◆ 住み慣れた地域で、自分らしい生活を選択しやすいよう「地域包括ケアシステム」を整備

※ 医療が必要な状況や意思決定が困難な状態で、本人らしい選択を尊重するためのシステム



こんな場合もあります



脳梗塞で緊急入院したAさん。
点滴・手術・リハビリが必要となりましたが、
会話が難しく、Aさんの考えを確認することができませんでした

家族は、Aさんの代わりに
療養生活の選択を求められましたが、
「私たちは決められない」と困っていました

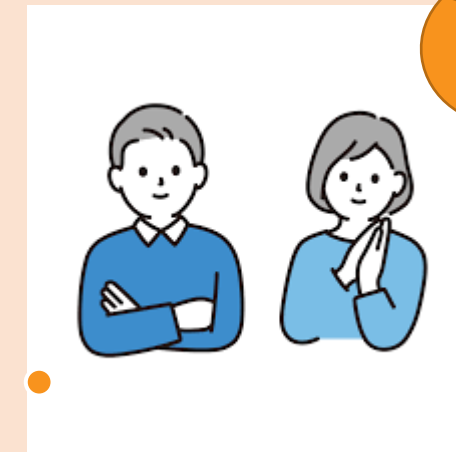
Aさんをご家族の選択

Aさん 意識不明な状態



一緒に暮らす
ことができる
か不安

家族



このまま
入院させ
てほしい

急性期病院は、病状の安定した方の入院は継続できない

家族による代理意思決定が必要

意思表示がむずかしい本人の代わりに
家族が選択・決定を行うこと

担当医・担当看護師・MSW(メディカルソーシャルワーカー)に相談

治療後にリハビリを継続できる療養型の病院へ転院し、
身体の機能回復に努めることに決定

こんな場合もあります



小学5年生のB君。走るのが得意で、運動会を楽しみにしていました。ところが、学校帰りに交通事故にあい、両足の骨折で緊急入院しました

担当医は両親の希望から、リハビリが可能な病院への転院を進めようとしています

両親と医師の会話を聞いたB君
「しばらく学校に行けないの？」
と心配になっています

B君とご家族の選択

B君



自分たちだけで
介護できるかな...

家に帰りたい
学校に行きたい...

家族は介護に不安を感じ、
入院を継続してリハビリを希望している



担当医・担当看護師・退院支援看護師・学校関係者で
B君の気持ちを聞いて、意思を確認



B君は訪問看護の支援で、自宅で過ごしている
授業はオンラインで受け、車いすで運動会を見学！
リハビリは外来通院で継続している

こんな場合もあります



前立腺がんの抗がん剤治療で
通院中のCさん。痛みが強くなり入院しました
担当医から、がんによる痛みで、今後は痛みを
やわらげる治療が必要だと言われました
また、抗がん剤治療の効果は得られておらず、
これ以上は継続できないとも言われました

もう抗がん剤ができない…
「これからどうなる？」
「今まで治療にお金を使ってきた
ので経済的に厳しい?!」と
心配になっています

Cさんのご家族の選択

Cさん



抗がん剤治療
ができない...
これからどうな
るんだろう

今まで治療に
お金を使って
きたので、お
金がない...

抗がん剤治療が、継続できない

緩和医療を選択

痛みや息苦しさなど
身体の苦痛をやわらげる治療

担当医・担当看護師・退院支援看護師・訪問診療医・訪問看護師
と相談、MSW（メディカルソーシャルワーカー）へ金銭面の不安を相談

痛みを緩和しながら、自宅で家族とゆっくり過ごすことに決定

入退院支援室・医療福祉相談室の紹介

◆当院では

退院支援看護師・MSW(メディカルソーシャルワーカー)
が医療的・社会的な制度や社会資源などに
関する情報提供や相談に取り組んでいます

◆経済的な問題はMSWに相談ください

◆ご希望は、スタッフにお伝えください

対話を通して、選択していきましょう

いざという時のために…

将来受ける医療や、
現在の医療・療養生活について

家族や医療者と一緒に

考えていきましょう

病院？

家
(在宅)？

施設？



みなさんの選択の支えに

- ◆東京都 “わたしの思い手帳”
- ◆練馬区 “わが家で生きる”

ACPの概要を知ることができます



パンフレット（わが家で生きる） ご自由にお持ち帰りください

（練馬区役所・地域包括支援センター・区民事務所・図書館などにも置いてあります）



事前準備に

◆練馬区 “119あんしんシート”

事前に意思を書き留めることで、
救急搬送時の備えになります

区のホームページから
ダウンロードできます。
地域包括支援センター
でも配布しています

資料2-2

119
あんしんシート

●「119あんしんシート」とは

救急搬送時に、**受入れ先の病院が知り
たい情報**を事前に書いておくシートです。



※すでに、本シートと同様の情報を提供できるものがある場合は、そちらをご活用ください。

●置き場所～専用マグネットを使い、分かりやすいところに



※救急隊の方は、緊急度が高い場合は、警察官立ち合いのもとでバッグや財布の中の身分証明書を確認することがあります。

もしものための 119あんしんシート

年に1回、
お誕生日などに見直しましょう。

代筆者名（本人との関係： ）

【基本的な情報】		記入日	年	月	日
ふりがな	性 別				
氏 名★	男 ・ 女				型
生年月日	西暦 ・ 大正 ・ 昭和 ・ 平成	年	月	日	
住 所	練馬区	電話番号			

記入した日、
修正した日を書きましょう。

【医療情報】 あてはまるところに○をつけ、必要事項を書いてください		記入日	年	月	日
いま治療中の病気はありますか？○	ない・ある	高血圧・糖尿病・心臓病・脳卒中 その他（ ）			
過去にかかった大きな病気はありますか？○	ない・ある				
近年(5年以内)に入院したことはありますか？○	ない・ある	病院名： 病名：			
アレルギーはありますか？	ない・ある	薬・食べ物・その他（ ）			
飲んでいる薬はありますか？○	ない・ある	お薬手帳 ない・ある（冊子・アプリ） 冊子のお薬手帳の保管場所（ ）			
かかりつけ医はどこですか？	ない・ある	診療所・病院名： 医師名：			
保険証は持っていますか？	ない・ある	保険証の保管場所（ ）			
移動するときに 介助は必要ですか？	どこでもひとりで歩ける・家の中はひとりで歩ける・介助が必要 杖が必要・歩行器が必要・車いすが必要				

医療情報は、救急
受入れ先の病院が、
知りたい情報。
速やかに適切な医
療機関に搬送され
るためにも、分か
ることは書いてお
きましょう。

○
病気に関してたく
さん情報がある方
は、別紙を準備し
ましょう。

必要時、救急隊や
病院の方が連絡を
します。
ふだんのあなたの
ことをよく知って
いる方を書きま
しょう。

【緊急連絡先】※親族などあなたのことをよく知っている方		記入日	年	月	日
順	ふりがな 氏 名	関 係	電 話 番 号	居 住 地	
1				区内・区外（ ）	
2				区内・区外（ ）	

<お願い！>緊急連絡先とした人には、必ずこのことを伝えてください

【生命にかかわるとき(心臓停止等)に医師に伝えたいこと】		記入日	年	月	日
<input type="checkbox"/> 治療（心臓マッサージや人工呼吸器等の救命処置を含む）を希望する					
<input type="checkbox"/> 回復する見込みがあるときは治療してほしい					
<input type="checkbox"/> 治療は希望しない					
<input type="checkbox"/> その他（ ）					

救急車で運ばれる
際に、とても大切
な情報です。
ここに書いた内容
は、家族や大切な
人にも共有してお
きましょう。

※本シートは、地域包括支援センター、〇〇〇、〇〇〇、区立施設などで配布しています。

医療・療養生活を選ぶにあたり、
考えや希望はいつでも変更できます

◆状況や環境の変化に伴って、
気持ち・考えは揺れ動きます

◆その時は、今の思いを書き留めてみる
ことや家族・医療者と対話する
機会にしましょう

